

平成22年度
芦屋市明るい選挙推進協議会
総会資料

日 時 平成22年5月20日（木）午前10時～

総 会 次 第

1	開	会	
2	新委員委嘱式	委嘱状の付与 (資料1)	1
3	選挙管理委員会委員長あいさつ		
4	会長あいさつ		
5	議	事	
	(1)	平成21年度常時啓発事業の実施結果について(資料2)	2
	(2)	平成21年度選挙時啓発事業の実施結果について(資料3)	4
	(3)	平成21年度会計収入支出報告について(資料4)	5
		監査報告	6
	(4)	新会長・副会長の選出	
	(5)	各専門委員会の割り振り	
	(6)	常任委員及び監査委員の指名	
	(7)	平成22年度常時啓発事業の実施計画(案)について(資料5)	8
	(8)	平成22年度選挙時啓発事業の実施計画(案)について(資料6)	10
	(9)	平成22年度会計収入支出予算(案)について(資料7)	11
6	意	見	交
	換		
7	閉	会	

[資料2]

平成21年度常時啓発事業の実施結果

事業項目	事業内容
1 諸会議の開催	<p>明推協総会 ① 日時 5月14日午前10時～12時</p> <p>常任委員会 ① 日時 3月26日午前11時30分～ 午後 0時30分</p> <p>広報委員会 ① 日時 4月28日午前10時～12時 ② 日時 9月 8日午前10時～12時 ③ 日時 12月15日午前10時～12時 ④ 日時 2月16日午前10時～12時</p> <p>講演会実施委員会 ① 日時 6月 5日午後 1時～ 3時 ② 日時 8月 3日午前10時～12時 ③ 日時 8月13日午前10時～12時</p> <p>選挙時啓発委員会 ① 日時 6月25日午前10時～12時 ② 日時 8月20日午前10時～12時</p>
2 広報紙啓発事業	<p>広報委員会委員により広報紙に白ばらだよりを掲載し、選挙啓発を行う。</p>
3 啓発ポスター募集事業	<p>市内の小・中・高校から明るい選挙の啓発ポスターを募集</p> <p>募集期間 5月11日～9月11日</p> <p>応募状況 小学校 8校 203点 中学校 6校 250点 高校 2校 13点 合計 16校 466点</p> <p>審査 9月11日に審査を行い(特選2名・入選18名・佳作30名), 特選及び入選作品20点を県の審査へ送付(県での入選1名)</p>
4 明るい選挙推進旬間事業	<p>明るい選挙啓発ポスター展 11月20日から11月30日まで市役所北館玄関東側通路にて20点展示</p> <p>明るい選挙推進大会 8月8日午前10時30分からルナ・ホールにて講演会を開催</p> <p>テーマ 「宮崎哲弥トークショー」 ～この局面に 私たちは…～</p> <p>講師 宮崎 哲弥 氏(評論家)</p>
5 新成人啓発事業	<p>20歳の誕生日に届くように、星座のイラスト入りバースデーカードと啓発冊子を送付</p> <p>成人式(1月11日)にメッセージチラシと啓発資材を配布</p>
6 阪神7市1町明推協連合会事業	<p>総会 1月22日 啓発担当職員研修会 2月17日</p>
7 学校生徒会選挙支援事業	<p>潮見中 12月9日</p>
8 明るい選挙推進事業	<p>コミュニティリーダー養成研修 12月17日</p> <p>市区町明推協組織・活動活性化研修 3月19日</p>

広報紙啓発事業

平成21年度広報あしや掲載記事

21年6月1日号

白バラ
だより 

二十歳になると、誰もが選挙権を与えられる。思い起こせば、小学生のクラス委員選びから、われわれは「選挙」を経験している。

日本で始めて国政選挙の選挙権が与えられたのは、明治二十二年で、国に税金拾五円以上納めている満二十歳以上の男性だけであった。その後、すべての男性が選挙権を持つようになり、女性が選挙権を持つようになったのは昭和十年からで、選挙権年齢も満二十歳になった。

大人になると、このような貴重な選挙権を放棄し、投票に行く人も少なくなるのは残念である。二十歳になってから「はい、投票に行きましょう」と言われても、すぐに自分の考えに合った候補者を選ぶ事は難しいので、その前から社会にしっかりと関心を持っていなければならぬ。

「小さい子に選挙なんてまだまだ」だと考えず、子どもと一緒に投票に行ったり、選挙を身近に感じるような環境を整えること。そのような保護者の姿勢が、大切なのではないだろうか。

問い合わせ 選挙管理委員会
☎382100

21年10月15日号

白バラ
だより 

皆さんは、関心を持って、今回の衆議院選挙に行かれましたか。

もしかしたら、「票を入れることによつて、何かが変わるかも知れない」という思いで行動に出た人が増えたのではないのでしょうか。

その結果、「政権交代」が実現しました。私たち一人一人の投票を通して、政治が大きく動いたのです。「政治に参加をしている」と実感されたかたも、多いのではないのでしょうか。今回の選挙は、選挙への関心を政治への関心へ、そして日本の未来を選択し国民自らの手で築いていくという、意志を持つ機会となりました。

どんな魅力的な政策も、実現しなければ絵空事、国民の生活を守るため、みんなを力に合わせ、じつくりと厳しい目を持っていきたいものです。

今後は、「私の一票がどう生かされたか」を監視していく、大きな責任があるのではないのでしょうか。

問い合わせ 選挙管理委員会
☎382100

22年2月15日号

白バラ
だより 

「政権交代」を多くの有権者が望み、私たち誰もが期待に胸を膨らませていたのは、少し前のことでした。

そんなつい先日、ある絵本作家の講演会に参加したのですが、そこで大変驚かされたことがあります。

今の子どもたちは夢を持つことが少なくなつてきたといわれて久しいが、小学生の口から「安定した生活がしたい」と言う言葉を聞いたというのです。周りの大人が夢を持っていないから、子どもも夢を持っていないのか。夢につながるきっかけが奪われているのか。

望むのは、子どもたちが夢を見られるような、安心な社会の実現です。そのためには、政治家にもクリーンで有言実行の政治をしてもらい、就職・教育・福祉といった身近な問題が、少しずつでも現状より良くなるようにしていかなければなりません。

一方、国民一人一人も自分たちに関わってくることで自覚し、今後の政治の動向を、厳しい目で見守っていかなければと、改めて思わされた出来事でした。

問い合わせ 選挙管理委員会
☎382100

[資料3]

平成21年度選挙時啓発事業の実施結果

平成21年7月5日執行 兵庫県知事選挙 街頭啓発実施日6月28日
 8月30日執行 衆議院議員総選挙 街頭啓発実施日8月22日

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・横断幕，立看板，のぼりを市内各所に掲示 ・公用車にボディパネルを掲示 ・啓発ポスターを公共施設，掲示板に掲示
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あしやに啓発記事を掲載 ・啓発チラシを郵送で配布 ・公共施設の窓口でチラシを配布
3 街頭啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・JR芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け，啓発資材の配布
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知，投票参加を呼び掛け ・ケーブルテレビの広報チャンネルで，投票日等を啓発 ・芦屋市ホームページに掲載

[資料4]

平成21年度自主会計収入支出報告

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(収入)

単位：円

項目	収入額	内訳
繰越金	80,051	平成20年度からの繰越
協力金	100,000	知事選挙, 衆議院選挙協力金
雑入	25	預金利子
合計	180,076	

(支出)

単位：円

項目	支出額	内訳
事業費	128,819	常任委員会費 会議費 2,000
		選挙時啓発委員会費 会議費 9,500 街頭啓発費 20,000
		講演会実施委員会費 会議費 14,000 推進大会 50,000 消耗品 16,819
		広報委員会費 会議費 13,500
		研修会費 交通費 3,000
		合計

収入180,076円 — 支出128,819円 = 残高51,257円

監 査 報 告

平成21年度芦屋市明るい選挙推進協議会の会計について、事前に監査を行った結果を報告いたします。

監査は、芦屋市明るい選挙推進協議会規約第7条第4項の規定に基づき、会計帳簿・その他の関係書類及び銀行預金等照合検査したところ、その結果、収支ともに正当であると認めましたので、ここに報告いたします。

平成22年5月20日

監査委員代表 委 員 名

監 査 結 果

本日、平成21年度芦屋市明るい選挙推進協議会の会計について、

監査を行いました。

監査は、芦屋市明るい選挙推進協議会規約第7条第4項の規定に

基づき、会計帳簿・その他の関係書類及び銀行預金等照合検査した

ところ、それぞれ符号して正確であった。

平成22年5月12日

監査委員 委 員 名

委 員 名

[資料 5]

平成 22 年度常時啓発事業実施計画（案）

事業項目	実施時期	対象者	内 容
1 諸会議の開催	4 月～ 3 月	明推協委員	総会の開催 常任委員会・専門委員会の開催
2 広報紙啓発事業	4 月～ 3 月	一般市民	市広報紙による啓発 (白ばらだより) 年 3 回
3 啓発ポスター募集事業	5 月～ 9 月	市内小・中・高校生	・ 明るい選挙の啓発ポスターを募集 ・ 明るい選挙啓発ポスター展 (啓発ポスター応募入選作品を市民センターに展示)
4 推進大会事業	6 月～ 3 月	一般市民	明るい選挙推進大会を開催
5 市民政治学講座(地域別講演会事業)	10 月～ 3 月	一般市民	政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催(公民館と共催)
6 議会の傍聴	6 月～ 3 月	明推協委員 一般市民	市議会本会議の傍聴
7 新成人啓発事業	4 月～ 3 月 1 月 10 日	新成人	・ 誕生日に「バースデーカード」と「啓発冊子」を送付 ・ 成人式に啓発資材を配布
8 阪神 7 市 1 町明推協連合会事業	4 月～ 3 月	選管委員 明推協委員 一般市民	総会, 会議等に参加 地域別講演会, 地域リーダー養成研修の実施 啓発資材の配布
9 学校生徒会選挙支援事業	4 月～ 3 月	市内小・中・高	学校の生徒会選挙における投票箱・記載台等の貸出を行い実際の公職選挙に近い形の選挙を行う。有権者となる前に選挙の大切さを学び若年層の政治・選挙への関心の向上を図る。
10 明るい選挙推進事業	11 月～ 3 月	明推協委員	明推協委員の資質向上及び明推協の組織・活動活性化を図る。

平成22年第2回定例会会議予定表

月日	曜日	会 議	摘 要
6月4日	金	議案説明会	
6月5日	土		
6月6日	日		
6月7日	月		
6月8日	火		
6月9日	水		
6月10日	木	議案運営委員会	
6月11日	金	本会議	開会，議会役員選出，議案処理
6月12日	土		
6月13日	日		
6月14日	月	都市環境常任委員会	質問通告締切日
6月15日	火	民生文教常任委員会	
6月16日	水	総務常任委員会	
6月17日	木		
6月18日	金	議案運営委員会	
6月19日	土		
6月20日	日		
6月21日	月	本会議	一般質問
6月22日	火	本会議	一般質問，（追加議案）
6月23日	水	本会議（予備日）	
6月24日	木	委員会（予備日）	
6月25日	金		
6月26日	土		
6月27日	日		
6月28日	月		
6月29日	火	議案運営委員会	
6月30日	水	本会議	委員長報告，採決，閉会

※ 市議会・委員会を傍聴するには、傍聴券が必要です。

本会議

傍聴席は65席あります。

傍聴券には、会議が開かれる時刻（通常午前10時）の30分前に、市役所議場の傍聴席入口（南館4階）で先着順に渡される一般傍聴券（30枚）と、各会派に割り当てられている議員紹介傍聴券等（35枚）があります。

委員会

大会議室又は委員会室で開きますが、大会議室は18人、委員会室は12人に限り傍聴できます。原則として議員の紹介で傍聴する制度をとっており、事前に議員に申し出て傍聴券（紹介傍聴券）を入手します。又、議員が使用しない傍聴券を会議開始15分前から市議会事務局で先着順に渡しています。

[資料6]

平成22年度選挙時啓発事業の実施計画（案）

平成22年7月25日任期満了 参議院議員通常選挙

平成23年6月10日任期満了 兵庫県議会議員選挙・芦屋市長・市議会議員選挙

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・横断幕，立看板，のぼりを市内各所に掲示・公用車にボディパネルを掲示・啓発ポスターを公共施設，掲示板に掲示
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報あしやに啓発記事を掲載・啓発チラシを郵送で配布・公共施設の窓口でチラシを配布
3 街頭啓発	<ul style="list-style-type: none">・JR芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け，啓発資材の配布
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知，投票参加を呼び掛け・ケーブルテレビの広報チャンネルで，投票日等を啓発・芦屋市ホームページに掲載

[資料 7]

平成 22 年度自主会計収入支出予算 (案)

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

(収 入)

単位：円

項 目	収 入 額	内 訳
繰 越 金	51,257	平成 21 年度からの繰越
協 力 金	50,000	参議院選挙協力金
雑 入	12	預金利子
合 計	101,269	

(支 出)

単位：円

項 目	支 出 額	内 訳
事 業 費	95,000	常任委員会費 10,000
		選挙時啓発委員会費 15,000
		講演会実施委員会費 50,000
		広報委員会費 20,000
予 備 費	6,269	
合 計	101,269	